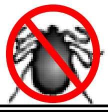
高知県感染症発生動向調査（週報）

２０１６年　第３９週　（９月２６日～１０月２日）

蚊やマダニに刺咬されないように注意しましょう！

屋外では長袖・長ズボンを着用するなど
肌の露出をできるだけ少なくしましょう。



★お知らせ

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 38 週の 0.70 から第 39 週は 0.87 と増加しています。高知市、中央西、中央東で増加し、高知市では 4 週連続で注意報値を超えています。

主な症状は、発熱・咽頭炎・結膜炎で、その他に、リンパ節の腫れ、腹痛、下痢などが生じることもあります。

感染力は非常に強く、通常は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスによる飛沫感染、あるいは、ウイルスが付着した手やタオルなどの患者が触れたものを介した接触感染により結膜あるいは上気道から感染します。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

１）流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
２）感染者との密接な接触は避けましょう。
３）タオル等は別のものを使い、共用しないようにしましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 38 週の 2.43 から第 39 週では 3.07 と増加し、高知市、中央東、須崎、中央西で増加しています。また、定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルスが 6 例、カンピロバクター感染症が 1 例、カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌 0-25 が 1 例、ロタウイルスが 1 例報告されています。基幹定点からは、ロタウイルスが 2 例報告されています。

感染性胃腸炎は、おう吐や下痢を主症状とする、細菌あるいはウイルスなどによる感染症です。

例年、秋から冬にかけてノロウイルス、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数が増加します。

乳幼児に好発し、1 歳以下の乳児は症状の進行が早いのが特徴です。37～38℃の発熱がみられることもあります。年長児では吐き気や腹痛がしばしばみられます。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあるため注意が必要です。感染を持ち込まない、広めないために最も有効な予防対策は手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

感染症予防の基本は、
★☆★手洗いから★☆★
調理時や食事前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点からは 7 例の報告があり、定点医療機関からのホット情報では 39 例の報告があるなど、引き続き報告数の多い状態が続いていることから、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症で、幼児期から学童期によく見られます。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を生じることがあります。

感染経路は主に飛まつ感染や接触感染です。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での濃厚な接触で感染します。患者の感染力は発症から 10 日前後（症状持続の例でも 6 週間程度）で消失しますが、この間は濃厚な接触は避けるようにしましょう。

予防対策は手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。予防するためのワクチン等はありません。まだ、マダニが活発に活動する時期です。引き続き、注意が必要です。

野山や畑、草むらなどに出かけるときは、次のことに注意しましょう。

▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。
▲マダニ用の忌避剤を使用しましょう。
▲草の上に直接座ったり、寝転んだりしない。敷物を利用しましょう。
▲脱いだ上着やタオルは、不用意に地面や草の上に置かないようにしましょう。
▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。
▲野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるので、よく見てあげましょう。
▲吸血中のマダニを見つけたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2 週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所　ダニが媒介する感染症
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html

●高知県衛生研究所　マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html

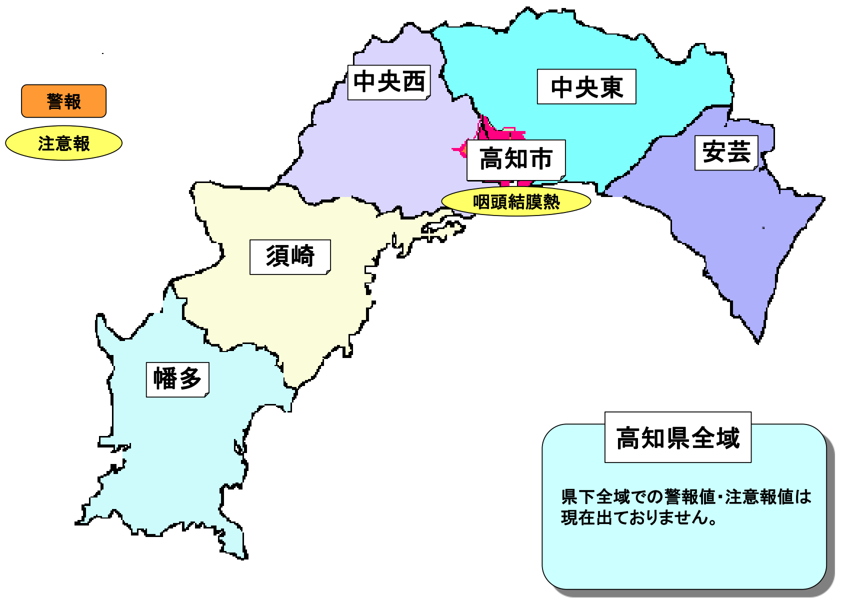
★県内での感染症発生状況

定点把握感染症　（上位疾患）　：急増　：増加　：横ばい　：減少　：急減

３９週　（９月２６日～１０月２日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		３．０７	高知市、中央東、須崎、中央西で増加しています。
RS ウイルス感染症		１．０３	中央東、高知市、幡多で増加しています。
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎		１．００	安芸、須崎、中央西、幡多、中央東で増加しています。
咽頭結膜熱		０．８７	高知市、中央西、中央東で増加し、高知市で注意報値を超えています。
流行性耳下腺炎		０．５３	幡多、中央東、須崎で増加しています。

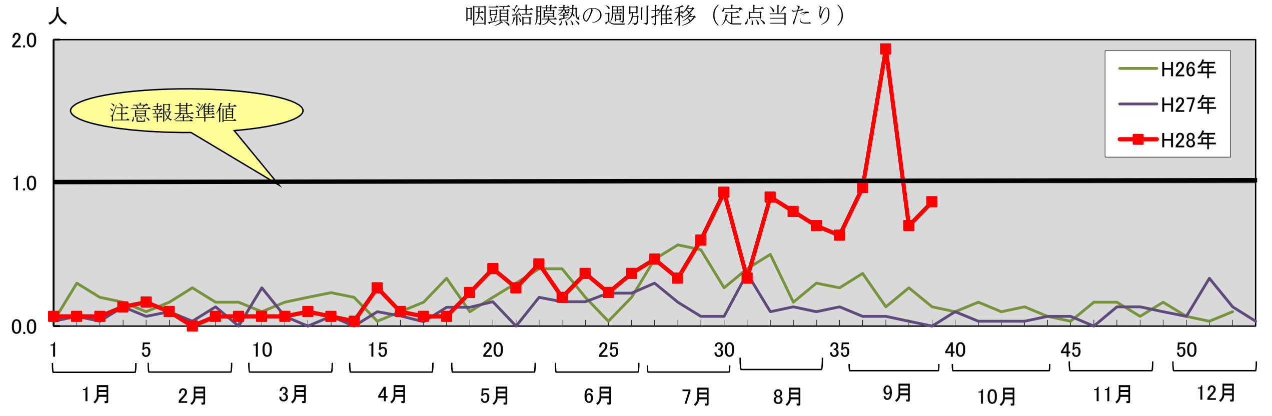
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

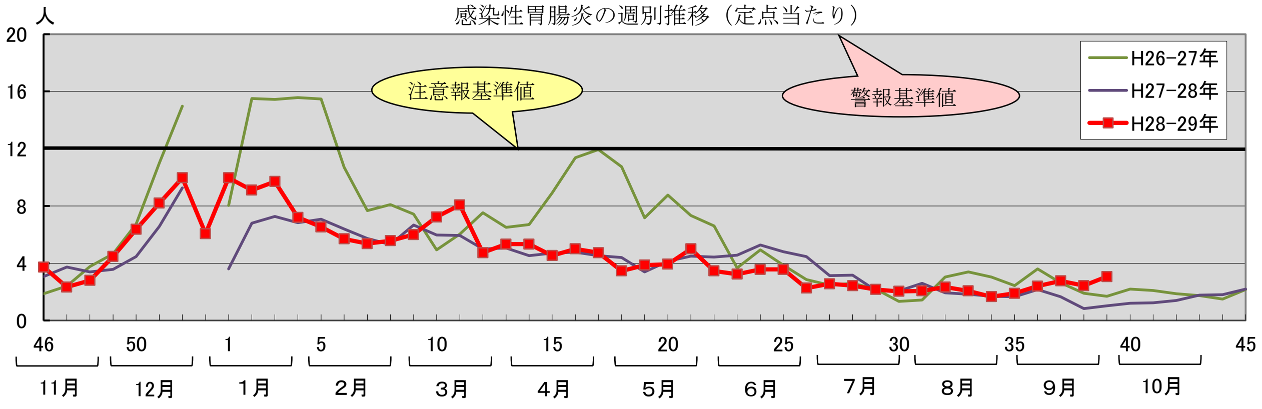
○咽頭結膜熱　第 39 週：　0.87　　　（注意報値：1.00　警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.87（前週：0.70）と増加しています。高知市 1.91（前週：1.27）、中央西 0.67（前週：0.33）、中央東 0.29（前週：0.14）で増加し、高知市では注意報値を超えています。



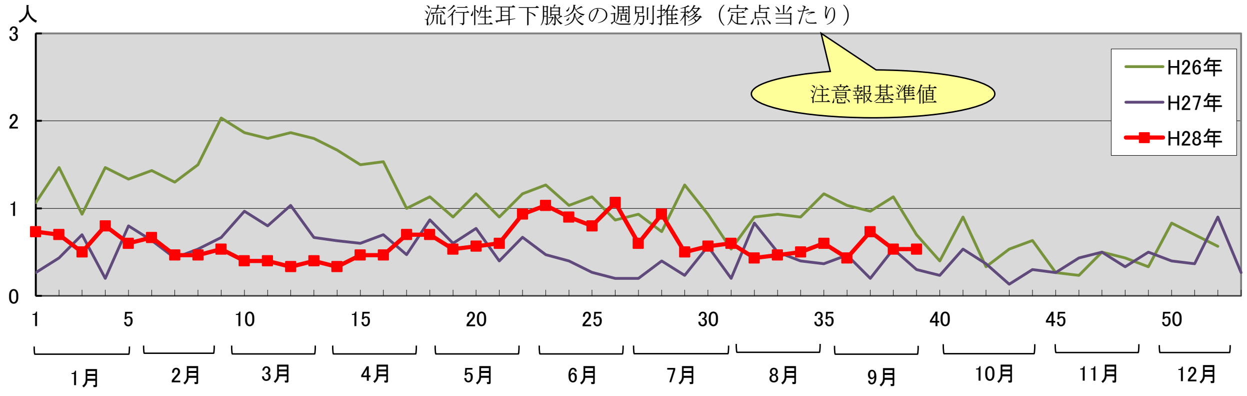
○感染性胃腸炎　第 39 週：　3.07　　　（注意報値：12.00　警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.07（前週：2.43）と増加しています。高知市 4.55（前週：3.91）、中央東 4.14（前週：2.14）、須崎 3.00（前週：0.50）、中央西 0.33（前週：0.00）で増加しています。



○流行性耳下腺炎　第 39 週：　0.53　　　（注意報値：3.00　警報値：6.00）

　定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.53（前週：0.53）と横ばいですが、幡多 1.40（前週：1.00）、中央東 0.86（前週：0.57）、須崎 0.50（前週：0.00）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28 年は第 53 週まであるため、グラフ横軸に第 53 週を挿入しています。

そのため、H25-H26 年と H26-H27 のグラフ第 52 週～第 1 週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	無菌性髄膜炎	10	男	高知市	Echovirus 6
37	インフルエンザ様疾患	6	女	幡多	Parainfluenza virus 3
38	不明発疹症	1	男	須崎	Human herpes virus 6

★全数把握感染症

第 39 週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	97	90歳代女	中央東
		1	98	90歳代女	須崎
		1	99	90歳代男	高知市
		1	100	80歳代男	安芸
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	13	80歳代男	高知市
		1	14	70歳代男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情　　報
中央東	あけぼのクリニック	アデノウイルス感染症1例（1歳）
		RSウイルス感染症1例（1歳）
		マイコプラズマ感染症3例（7歳、14歳、28歳）
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（4歳男）
	高知大学医学部附属病院小児科	ムンプス髄膜炎1例（1歳男）
		マイコプラズマ肺炎1例（6歳女）
	いちはら内科小児科	カンピロバクター1例（12歳男）
	おひさまこどもクリニック	ムンプス3例(全員香美市だが保育園はそれぞれ別)
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎4例（11ヶ月男、1歳女、2歳男、3歳男）
高知市	けら小児科・ｱﾚﾙｷﾞｰ科	アデノウイルス感染症10例（1歳男、1歳女2人、2歳男3人、2歳女、3歳男女、29歳女）
		マイコプラズマ肺炎8例（6歳女2人、9歳男2人、10歳男、12歳男、13歳女、40歳女）
		カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌0-25　1例（10歳男）
		ノロウイルス腸炎2例（0歳女、3歳女）
	細木病院小児科	ノロウイルス3例（1歳男女、2歳男）
		ロタウイルス1例（1歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑（りんご病）2例（4歳男、10歳男）
		溶連菌感染症10例
		マイコプラズマ肺炎1例（17歳女）
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症7例（1歳男女、2歳女、3歳男2人、5歳女、8歳女）
		マイコプラズマ肺炎3例（5歳女、6歳男、7歳女）
	高知医療センター小児科	RSウイルス2例（5ヶ月男、1歳男）
		アデノウイルス2例（4ヶ月男、3歳男）
		ノロウイルス1例（1歳女）
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎5例（1歳男、3歳女、4歳男女、11歳女）
		マイコプラズマ肺炎1例（11歳男）
須　崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎（アデノウイルス）2例（3歳、5歳）
		マイコプラズマ肺炎4例（2歳、5歳、10歳、11歳）
幡　多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎10例（2歳女、4歳男2人、5歳女、8歳女、9歳男2人、10歳女、13歳男、15歳女）
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎1例（9歳女）
	幡多けんみん病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症陽性3例（7ヶ月男、1歳女、2歳男）
	さたけ小児科	帯状疱疹1例（10歳男）
		マイコプラズマ3例（1歳男、5歳男、6歳女）

★全国情報
麻しん

麻しん（はしか）の流行が問題となっています。

麻しんは、発熱・咳・鼻水といった風邪のような症状の後、高熱と発疹が現れ、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。

発熱等の麻しんが疑われる症状が現れた場合は、医療機関に直ぐに受診をするのではなく、必ず事前にかかりつけ医等に電話連絡でその旨を伝え、指示に従い、医療機関を受診しましょう。

- 麻しんは予防接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。
- 麻しんは感染力が非常に強い感染症です。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は重要です。予防接種を受けてない方や、予防接種が1回だった年代の方（概ね26歳以上の方）については十分な免疫を獲得してない可能性があることから、特に注意が必要です。
- 妊娠中に麻しんに罹患すると、一般に重症化することが知られています。妊娠中の接種はできませんが、これから妊娠を計画されている方は予防接種を受けることをご検討ください。
- 麻しん流行時には外出を避け、人込みに近づかないようにするなど注意が必要です。特に感染者が多く報告されているところへ出かける際は注意しましょう。

○高知県健康対策課　麻しん・風しんに関する情報
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyumashin.html
○厚生労働省　麻しん（はしか）に関するQ&A
http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html
○国立感染症研究所感染症疫学センター　麻しんに関する緊急情報（2016年8月25日）
http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/655-disease-based/ma/measles/idsc/6709-20160825.html

第33週以降、全国各地で麻しんの患者報告が相次いでおり、今年の全国の麻しん患者報告数は第38週時点※で114名と、昨年1年間の報告数35名を大きく超えています。
第38週の報告数は9名となっており、引き続き、関西、関東圏からの報告が相次いでいます。それぞれの報告数は、大阪府3名、奈良県1名、神奈川県3名、東京都1名、千葉県1名となっています。

国立感染症研究所麻しん情報（速報）は次のとおり発信されています。
○国立感染症研究所　感染症発生動向調査（IDWR）麻しん第38週速報
http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/diseases/measles/measles2016/meas16-38.pdf

○国立感染症研究所　麻疹ウイルス分離・検出速報
http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-measles.html

※報告数は感染症発生動向調査システムWISH公開データ（週報）を掲載しているため、速報として公開されている報告数とは一致しない場合があります。

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。
診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所　ジカウイルス感染症関連情報
http://www.nih.go.jp/niid/ja/

●厚生労働省検疫所　海外感染症情報
http://www.forth.go.jp/index.html
●外務省　海外安全ホームページ
http://www.anzen.mofa.go.jp/
●国立国際医療研究所センター　ジカ熱/ジカウイルス感染症　2016 年 9 月 6 日更新
http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/
●ジカウイルス感染症　定義（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html
●ジカウイルス感染症　発生届様式（PDF）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf
●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html
●政府広報オンライン　何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症（ジカ熱）予防のポイント
http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html
●外務省海外安全ホームページ　マレーシアにおけるジカウイルス感染症の発生　2016 年 9 月 4 日更新
http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo_2016C240.html

第37号（9月12日～9月18日）

1類感染症：報告なし
2類感染症：結核356例
3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症119例、パラチフス1例
4類感染症：E型肝炎5例、A型肝炎3例、オウム病1例、重症熱性血小板減少症候群5例、
つつが虫病1例、デング熱10例、日本紅斑熱3例、ブルセラ症1例、マラリア2例、
レジオネラ症31例、レプトスピラ症2例
5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症24例、
急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、
後天性免疫不全症候群22例、ジアルジア症1例、侵襲性肺炎球菌感染症12例、
水痘（入院例に限る）4例、梅毒59例、破傷風1例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん3例、麻しん21例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例
報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、ジカウイルス感染症1例、チクングニア熱1例、
デング熱3例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症3例、レプトスピラ症2例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎4例、
播種性クリプトコックス症1例、クリプトスポリジウム症1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒43例、風しん1例、麻しん1例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

※第40週（10月3日から10月9日）の週報は、10月10日（月）が祝日となり、定点医療機関からの報告が翌10月11日（火）となることから、公表は10月13日（木）となる予定です。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第39週　平成28年9月26日(月)～平成28年10月2日(日)　高知県衛生研究所

定点名	保健所 / 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(38週)	高知県(39週末累計) H28/1/4～H28/10/2	全国(38週末累計) H28/1/4～H28/9/25
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ							( )	( )	569 (0.12)	14,927 (310.98)	1,583,454 (321.12)
小児科	咽頭結膜熱		2	21	2		1	26 (0.87)	21 (0.70)	777 (0.25)	427 (14.23)	52,604 (16.70)
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2	18	2	2	3	30 (1.00)	22 (0.73)	3,771 (1.20)	2,005 (66.83)	281,023 (89.21)
小児科	感染性胃腸炎	1	29	50	1	6	5	92 (3.07)	73 (2.43)	9,247 (2.94)	5,160 (172.00)	651,009 (206.67)
小児科	水痘	1		1		3		5 (0.17)	8 (0.27)	805 (0.26)	312 (10.40)	45,011 (14.29)
小児科	手足口病	1	2	3			1	7 (0.23)	3 (0.10)	2,471 (0.79)	274 (9.13)	34,571 (10.97)
小児科	伝染性紅斑		1	3			1	5 (0.17)	13 (0.43)	312 (0.10)	273 (9.10)	46,259 (14.69)
小児科	突発性発疹	2	3	7			3	15 (0.50)	6 (0.20)	1,375 (0.44)	401 (13.37)	57,712 (18.32)
小児科	百日咳							( )	2 (0.07)	50 (0.02)	91 (3.03)	2,262 (0.72)
小児科	ヘルパンギーナ		1				4	5 (0.17)	4 (0.13)	2,756 (0.88)	721 (24.03)	115,437 (36.65)
小児科	流行性耳下腺炎		6	2		1	7	16 (0.53)	16 (0.53)	2,936 (0.94)	706 (23.53)	114,129 (36.23)
小児科	RSウイルス感染症	2	11	13	2	1	2	31 (1.03)	17 (0.57)	4,204 (1.34)	713 (23.77)	46,574 (14.79)
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	9 (0.01)	( )	307 (0.44)
眼科	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	2 (0.67)	573 (0.83)	17 (5.67)	18,702 (27.10)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	( )	12 (0.03)	10 (1.25)	362 (0.77)
基幹	無菌性髄膜炎							( )	2 (0.25)	34 (0.07)	33 (4.13)	1,021 (2.16)
基幹	マイコプラズマ肺炎			5			2	7 (0.88)	6 (0.75)	399 (0.84)	223 (27.88)	11,626 (24.58)
基幹	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 (0.13)	1 (0.13)	7 (0.01)	28 (3.50)	256 (0.54)
基幹	感染性胃腸炎			1			1	2 (0.25)	( )	5 (0.01)	236 (29.50)	5,008 (10.59)
計 (小児科定点当たり人数)		10 (5.00)	57 (8.15)	127 (10.73)	7 (2.34)	13 (6.50)	30 (5.40)	244 (7.74)		30,312	26,557 (680.40)	3,067,327
前週 (小児科定点当たり人数)		11 (5.50)	25 (3.56)	120 (10.18)	8 (2.66)	11 (5.50)	21 (3.60)		196 (6.16)			

注　(　)は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点当たり　第39週

定点名	保健所 / 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(38週)	高知県(39週末累計) H28/1/4～H28/10/2	全国(38週末累計) H28/1/4～H28/9/25
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ									0.12	310.98	321.12
小児科	咽頭結膜熱		0.29	1.91	0.67		0.20	0.87	0.70	0.25	14.23	16.70
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.29	1.64	0.67	1.00	0.60	1.00	0.73	1.20	66.83	89.21
小児科	感染性胃腸炎	0.50	4.14	4.55	0.33	3.00	1.00	3.07	2.43	2.94	172.00	206.67
小児科	水痘	0.50		0.09		1.50		0.17	0.27	0.26	10.40	14.29
小児科	手足口病	0.50	0.29	0.27			0.20	0.23	0.10	0.79	9.13	10.97
小児科	伝染性紅斑		0.14	0.27			0.20	0.17	0.43	0.10	9.10	14.69
小児科	突発性発疹	1.00	0.43	0.64			0.60	0.50	0.20	0.44	13.37	18.32
小児科	百日咳								0.07	0.02	3.03	0.72
小児科	ヘルパンギーナ		0.14				0.80	0.17	0.13	0.88	24.03	36.65
小児科	流行性耳下腺炎		0.86	0.18		0.50	1.40	0.53	0.53	0.94	23.53	36.23
小児科	RSウイルス感染症	1.00	1.57	1.18	0.67	0.50	0.40	1.03	0.57	1.34	23.77	14.79
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.44
眼科	流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.67	0.83	5.67	27.10
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.03	1.25	0.77
基幹	無菌性髄膜炎								0.25	0.07	4.13	2.16
基幹	マイコプラズマ肺炎			1.00			2.00	0.88	0.75	0.84	27.88	24.58
基幹	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.13	0.01	3.50	0.54
基幹	感染性胃腸炎			0.20			1.00	0.25		0.01	29.50	10.59
計 (小児科定点当たり人数)		5.00	8.15	10.73	2.34	6.50	5.40	7.74			680.40	
前週 (小児科定点当たり人数)		5.50	3.56	10.18	2.66	5.50	3.60		6.16			

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850　高知市丸ノ内2-4-1(保健衛生総合庁舎2階)
TEL：088-821-4961　FAX：088-825-2869